

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsレポート_2023



2023/6/1



目次

2022年度の活動報告 P2

2022年度活動内容 P3~9

2022年度活動したオフィサーからのコメント . . . P10

2022年度以前からの継続活動 P11

2023年度の活動について P12

2023年度の活動詳細 P13



2022年度の活動報告

《2022年度の活動について》

三光産業のSDGsは2022年度に「ゼロ」からスタートし、三光産業が「SDGs活動」を開始したことを社内外に知って頂く事を主題として、サステナブル委員会（6名）を中心に活動を開始しました。

《主な活動は以下の通りです》（※詳細はP3~9に記載しています）

- ◆ ホームページで三光産業のSDGs活動を発信（「Sustainability」項目を追加しました）
- ◆ 全従業員へのSDGsバッジの配布
- ◆ 国内全事業所よりオフィサー（11名）を募集し、ABCの3チームに分かれて活動（日用品を環境対応型へ変更、一言多い貼り紙、ボランティア参加、寄付型自販機導入、地域クリーン活動）
- ◆ マスクの寄付

《前年度からの継続活動》（※詳細はP11に記載しています） ホームページにも掲載しています。

- ・ エコキャップ活動（川越工場主導で全社で実施）
- ・ ニチバン巻心ECOプロジェクト（川越工場主体）



2022年度活動内容

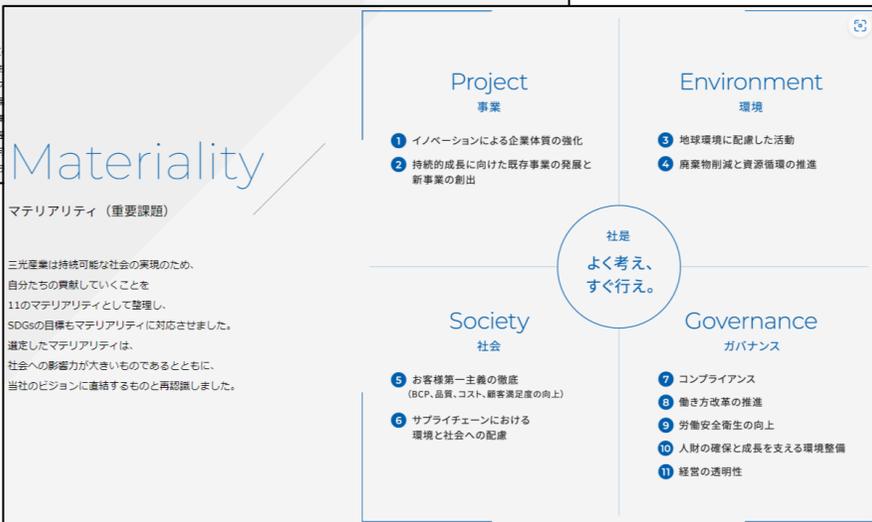
「ホームページにSustainability項目を追加」

11のマテリアリティを特定し、SDGs活動の方向性を明確にしています。



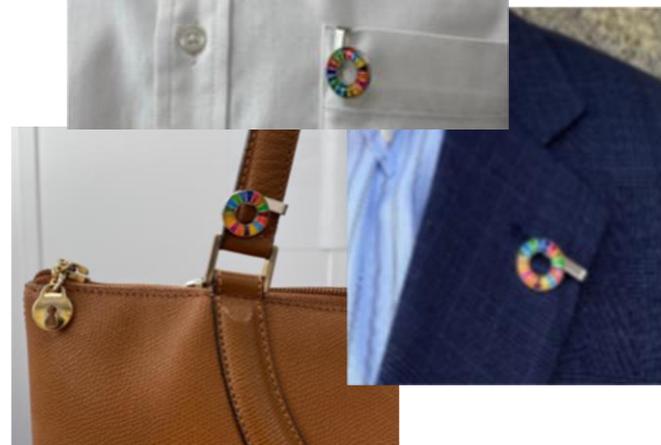
三光産業のサステナビリティ

サステナビリティとは、「Sustain（持続する）」と「Table（これは、環境や社会、人々の健康、経済などあらゆる場面に「将来にわたり価値を失わずに持続可能なシステムやプロセスの提供や「パフォーマンスを追求するのではなく、物事の目的は、高い技術力、品質力で社会に貢献する」を企業として「顧客企業における最高のサプライヤー」になることを目指すすべてのステークホルダーとともにESG課題を解決し、持続可能なサステナビリティの取り組みのなかで11のマテリアリティ



「全従業員へのバッジ配布」

従業員のSDGs活動への参加意識を向上





2022年度活動内容



《音姫設置》 ※トイレの流水音発生器

※大阪支店・名古屋営業所で計10台導入
⇒年間20,000リットルの節水を見込み



《日用品を環境にやさしいものへ》

※長野工場にて採用



FSC認証のトイレットペーパーに変更
商品名：フローラルブレンドシングル



分解性の高い界面活性剤が配合された
人体と環境に優しいハンドソープに変更
商品名：ラッキーボーイ エコサーフエース

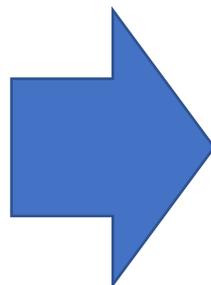
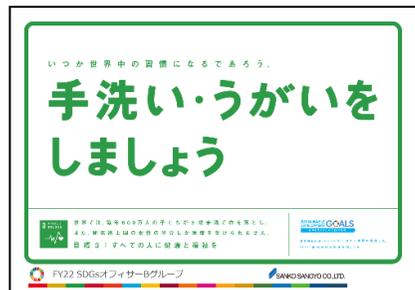
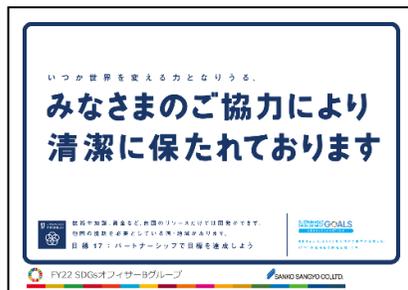
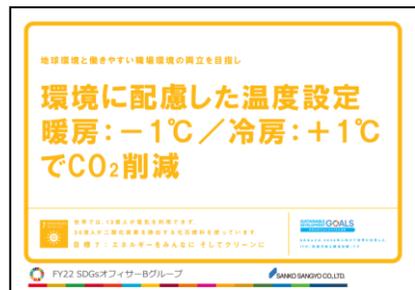


2022年度活動内容



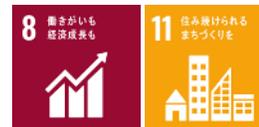
「一言多い貼り紙」

日常生活の中でSDGsを知ってもらう為の、メッセージ付き貼り紙を掲示
※全拠点で実施（本社・大阪支店/工場・長野工場・川越工場・名古屋営業所）





2022年度活動内容



《ボランティア参加》

『古タオルでぞうきんを縫って被災地を助けよう』に参加
主催団体：特定非営利活動法人 ADRA Japan (アドラ・ジャパン)様

水害被災地で役に立つ掃除用の雑巾を備蓄し、水害が発生した際に要望に沿って、必要とされる枚数をすぐに送る支援。



社内で有志の参加を募った所、
多くの社員に参加して頂く事ができ、
合計：86枚のぞうきんが集まりました。





2022年度活動内容



「地域クリーン活動」

- 【本社】 9回 (延べ参加人数:73名)
- 【大阪支店】 7回 (延べ参加人数:71名)
- 【川越工場】 8回 (延べ参加人数:83名)
- 【長野工場】 7回 (延べ参加人数:68名)

川越工場



本社



長野工場



大阪支店





2022年度活動内容



《寄付型自販機の設置》

本社・大阪支店・長野工場で、計3台設置しました。
【寄付額】本社・大阪「3円/本」、長野「2%/売上」

本社（1台）



大阪支店（1台）



長野工場（1台）





2022年度活動内容

《感謝状を頂きました》



【社会福祉法人 東京都共同募金会】
不織布マスクを寄付



【特定非営利活動法人 ADRA Japan】
水害被災地への備蓄用雑巾を寄付



2022年度活動したオフィサーからのコメント

参加して良かったこと

他の事業所の人と関わることが良かったです。
買い物をするときにもサステナブルなものを選ぶ様
になりました。

(川越工場)

SDGsについて学ぶことができ、今どのような活動
が社会で求められているのかを知ることが出来まし
た。普段の生活においても、SDGs活動が目に着く
ようになりました。(本社)

今まで関わることのなかった部署の方たちと一緒に
できたことです。(名古屋営業所)

自動販売機メーカーとのやり取りなど普段の業務
ではない事を行う為、勉強になることも多かったです。
(大阪支店)

改善が必要と思ったこと

会社としてSDGs活動を行うと方針を出した以上、
SDGs活動は業務という側面を持つので、社員に対
しても少し強制力のあるやり方をしてもらってもよかつたか
もしれない。(本社)

全チームに各事業所のオフィサーを配置するべき
だと思います。他チームの情報は一切知ることが
できなかった。(川越工場)

コロナ禍で仕方がないですが初回と最後くらいは
全員で実際に顔を合わせてコミュニケーションを
取ることが出来ればと思いました。(大阪支店)

「会社で取り組む」活動なので、オフィサーだけ
がやればよいというようなことにならないように
、どの事業所も全従業員を巻き込んでいくように
した方がよいと思う。(川越工場)

まとめると…

【良かった点】

・通常業務では係わりの薄い部門の方と一緒に活動できた。・日常生活でもSDGsを意識するようになった。

【今後の課題】

・オフィサー以外の従業員の方も参加しやすい環境や活動への参加意識の改革。



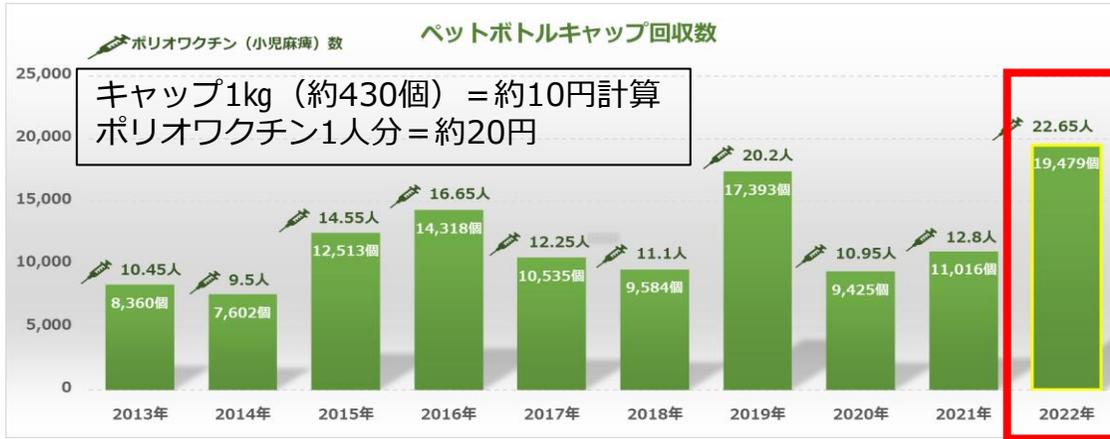


2022年度以前からの継続活動



「エコキャップ活動」(川越工場主導で全社で実施)

ペットボトルの蓋を回収し、売却益で開発途上国にワクチンを寄付する活動です。



2022年ワクチン寄付
→ **約22.65人分**
(累計: 約141人分)

「ニチバン巻心ECOプロジェクト」(川越工場主体)

製造で出た不要になった紙管(巻心)を緑化活動に生かす活動です。ニチバン様様の巻心エコプロジェクトに参加し、感謝状を頂きました。ニチバン様で巻心を古紙回収業者に購入頂き、段ボール箱に再生。さらにその利益と巻心の個数に応じた支援金を緑を守る取り組み(マングローブの植樹など)に役立てられます。





2023年度の活動について

《2023年度の活動について》

サステナブル委員会（昨年度メンバーに3名追加し9名）と今年度新たに募集したSDGsオフィサー（11名）の合計20名を中心に活動致します。

今年度は、より明確なSDGs活動を行います。
上記20名のメンバーが、「E(環境)」「S(社会)」「G(ガバナンス)」3側面のチームに分かれて活動します。（※詳細は次項に記載しています）

また、三光産業の拠点のある「埼玉県」「長野県」「愛知県」で各自治体のSDGsパートナーの認定取得も目指します。
認定取得の為には、上記3側面「E(環境)」「S(社会)」「G(ガバナンス)」について具体的な数値目標と目標達成に向けた明確なアクションが必要になります。

SDGsオフィサーが中心となり活動を行いますが、目標達成のためには従業員の方々のご協力は必須となりますので、積極的にご参加頂けます様、宜しくお願い致します。





2023年度の活動詳細

3側面	活動テーマ (重点的な取り組み)	目標値 (指標)
E (環境)	CO2削減	2022年度時点 (総CO2排出量 : 888,280kg) 2025年度 : ▲3% 2030年度 : ▲5%
S (社会)	社会貢献活動	クリーン活動や外部ボランティア活動に参加 2025年度 : 35回/年 (延べ1,000人参加) 2030年度 : 40回/年 (延べ2,900人参加)
G (ガバナンス)	有給休暇取得率UP	有休付与日数に対する取得率50%以上の割合 2022年度時点 : 全社員の74% 2025年度 : 80% 2030年度 : 90%

今年度オフィサーを上記3側面でチームを組み、各活動テーマに従って、目標値を達成するために、「何をするのか？」を検討し、実際に活動をしていきます。



SDGsレポート_2023



E O F

